

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年7月13日～2017年7月19日)

平成 29 年(2017 年)7 月 21 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>国家警察, イタリア人逃亡犯を拘束 国家警察, アフガニスタン人密入国者を拘束 情報機関, テロ準備の容疑でポーランド人男性を拘束 英国在住ポーランド人とイスラム教徒のトラブル, SNS上で話題に 8月に開催される大規模音楽祭ウッドストックの警備計画発表 最高裁判所改正法案をめぐる動き 張徳江全人代常務委員長の当地訪問 マチュレヴィチ国防大臣, ロシアはポーランドのパトリオットミサイル調達を警戒していると発言 マチュレヴィチ国防大臣, V4国防大臣会合に参加 劉暁波氏の逝去に関するヴァシチコフスキ外相のコメント 欧州委によるEU法違反手続へのポーランド政府回答 ウイリアム英王子一家の当国訪問 ドゥダ大統領, メルケル独首相との電話会談 多国籍師団司令部幕僚長, 辞職 下院国防委員会, 国防予算の増額を承認 ロシア国防省, バルト海に大型原子力艦艇2隻を派遣すると発表</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留留」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>経済</p> <p>中国の対ポーランド投資 6月の平均賃金 中国の揚帆, ポーランド海運 PZM 社向け貨物船の建造を完了 モラビエツキ副首相, 自身の戦略効果につき講演 ポーランド, 中国と原子力平和利用覚書を交換</p>								
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い パスポートダウンロード申請書の御案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>								
<p>ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>								

政 治

内 政

国家警察、イタリア人逃亡犯を拘束【13日】

13日、ポーランド国家警察とイタリア軍警察は、ポドカルパツキエ県スタロワ・ボラで共同作戦を実施し、同地に潜伏していたイタリア人逃亡犯ガブリエレ・Fを拘束した。同人は、経済犯罪、薬物犯罪、武器の不法所持等の容疑でイタリア当局から有罪判決を受けており、潜伏先では会社経営を行っていた。ポーランド南部ではイタリア人重犯罪者の摘発が相次いでおり、先月も、マウオポルスキエ県に潜伏していたイタリアのマフィア組織・カモツラの幹部1名が拘束されている。

国家警察、アフガニスタン人密入国者を拘束【13日】

13日、国家警察は、ポモルスキエ県のA1高速道路を走行中のトラックの果実・野菜輸送コンテナに潜伏していたアフガニスタン人男性2人を拘束した。同事案は、トラックのマケドニア人運転手がコンテナからの異音に気づき、警察に通報したことで発覚した。警察当局は、運転手と密入国者双方を拘束し、事情聴取を行っている。

情報機関、テロ準備の容疑でポーランド人男性を拘束【15日】

15日、メディア各社は、ポーランド公安庁（ABW）がシロンスキエ県コストコヴィツァに居住する18歳のポーランド人男性を拘束した旨報じた。同男性は、ポーランド国内でのテロを扇動したほか、爆発物製造に関する支援を受けるため、イラク・レバントのイスラム国（ISIL）と接触していたとされる。取り調べにおいて容疑者は容疑を認めており、検察当局は容疑者の身柄を3か月間拘束することを了承した。

英国在住ポーランド人とイスラム教徒のトラブル、SNS上で話題に【16日】

16日、英国メディア各社は、ロンドン市内の地下鉄駅で発生したポーランド人建築士と同地のムスリムのトラブルに関して報じた。同トラブルは、15日、ムスリムが、ツイッター上で、ポーランド人建築士にヒジ

ャブを引き剥がされ暴行された旨主張したことで表面化したもので、ポーランド人建築士も、ツイッター上で、暴行の事実を否定するとともに、ムスリム側が自身のパートナー（黒人女性）に対して差別的な言動を取ったことがトラブルの原因である旨反論している。英国警察は、本件に関し、あらゆるヘイトクライムを容認しない、両者に対して捜査を行っている旨コメントしている。

8月に開催される大規模音楽祭ウッドストックの警備計画発表【18日】

18日、本年8月3日から5日にかけてルブスキエ県コストシン・ナド・オドロで開催される定例の大規模野外音楽祭・ウッドストックを主催するキリスト教系慈善団体WOSPIは、同イベントの警備計画を発表した。今年のウッドストックには、警察官1,500人、警備員650人、ボランティアの警備部隊「ブルー・パトロール」1,000人、医療班300人が動員されるほか、車両突入防止装置の設置や入場者に対する所持品検査等のテロ対策が行われる。なお、国家警察は、同祭について、テロ及び一般犯罪の脅威度が高いとして警戒を呼びかけている。

最高裁判所改正法案をめぐる動き【18日～20日】

18日から開催された下院セッションにて、与党「法と正義」（PiS）所属の下院議員グループが提出した最高裁判所改正法案が審議され、20日、同法案は修正の上可決され、上院に送られた。同法が施行されると、すべての最高裁判所裁判官は、大統領が例外として認める場合を除き休職（実質的な退官）となる。

19日、ティーマーマンス欧州委副委員長は、ポーランド政府の司法改革は司法の独立を奪い、法の支配を脅かすものだとして現状を批判した。

20日、一連の司法制度改革法案に反対する抗議集会が開催され、ワルシャワ市の発表によると5万人が大統領府前に集まり、大統領に法案への署名を行わないよう求めた。

外交・安全保障

張徳江全人代常務委員長の当地訪問【12～16日】

12日～16日にポーランド下院の招待で当国を訪問した張徳江中国全国人民代表大会常務委員会委員長は、13日、シドゥウオ首相及びクフチンスキ下院議長と会談し、モラヴィエツキ副首相兼開発大臣と共に「中国・ポーランド投資及び物流・通信インフラ

協力フォーラム」の開会式に出席、14日にカルチェフスキ上院議長と会談し、16日にはドゥダ大統領とも会談を行った。

マチュレヴィチ国防大臣、ロシアはポーランドのパトリオットミサイル調達を警戒していると発言【12日】

12日、マチュレヴィチ国防大臣は、米国とのパトリオットミサイル及び最新技術の取得に関する覚書の合意に関連し、ロシアはポーランド軍の近代化を警戒しており、このことは、ポーランドが軍事上地域の強国となりつつあることを示していると述べた。

マチュレヴィチ国防大臣、V4国防大臣会合に参加【13日】

13日、マチュレヴィチ国防大臣は、ワルシャワで開催されたV4国防大臣会合に参加し、NATO東方境界強化に関するV4間の協力、2019年に予定されるウクライナ軍とのV4戦闘群の共同任務に向けた準備等について意見交換を行った。

劉暁波氏の逝去に関するヴァンチコフスキ外相のコメント【14日】

14日、ポーランド外務省は、劉暁波氏の逝去を受け、偉大な思想家、活動家、作家及び2010年ノーベル平和賞受賞者であった劉暁波の訃報に接し、深い悲しみに暮れている、われわれにとって大きな喪失であると述べ、劉暁波氏の配偶者である劉霞氏に対し哀悼のメッセージを発した。

欧州委によるEU法違反手続へのポーランド政府回答【14日】

14日、ポーランド政府は、移民の再移転メカニズムを実施していないポーランドを対象としたEU法違反手続に対し回答を送付し、難民受入れは政府としての公共の安全確保の義務を果たせず、難民の再移転は、社会保障制度に著しい影響を及ぼすため、再移転に関する決定は、各国の政府が一致して決

定すべきとの立場を説明した。

ウィリアム英王子一家の当国訪問【17-18日】

17-18日、英国のケンブリッジ公ウイリアム王子一家がワルシャワ及びグダンスクを訪問した。

ドゥダ大統領、メルケル独首相との電話会談【18日】

18日、ドゥダ大統領は、メルケル首相と45分間に亘る電話会談を行い、三海域協力首脳会合、トランプ米大統領の当地訪問、安全保障等について意見交換を行った。

多国籍師団司令部幕僚長、辞職【18日】

18日、国防省は、7月に設置されたポーランド北東部エルブロングの多国籍師団司令部幕僚長のオルウオフスキ大佐が辞職し、19日、同省は、アダム・ヨクス准将を後任に指名したと発表した。

下院国防委員会、国防予算の増額を承認【18日】

18日、下院国防委員会は、軍の近代化等のため国防予算を現状の対GDP比2%から2030年には同2.5%に増額する法案を承認した。

ロシア国防省、バルト海に大型原子力艦艇2隻を派遣すると発表【18日】

18日、ロシア国防省は、7月30日の「ロシア海軍の日」行事に参加するため、タイフーン型原子力弾道ミサイル潜水艦「ドミトリイ・ドンスコイ」及び原子力ミサイル巡洋艦「ピョートル・ヴェリキー」をバルト海に派遣すると発表した。

経 済

マクロ経済動向・統計

中国の対ポーランド投資【18日】

2016年の中国の対ポーランド投資額は、5億米ドルを上回った。対外情報・投資庁(PIH)によれば、現在中国はポーランド向けに7件の投資プロジェクトを準備中であり、ほとんどがゼロからのグリーンフィールド型投資とされる。多くの西欧諸国が中国の投資に対する規制に積極的なのと異なり、ポーランドは大統領及び首相以下、中国との投資関

係強化に熱心である。

6月の平均賃金【19日】

10人以上を雇用する民間企業の6月の平均賃金は月あたり約4,500ズロチで、対前年同月比6%増、2017年上半期で対前年同期比5%増となった。中央銀行は、平均賃金について2017年は4.7%増、2018年は6%増と予測している。

ポーランド産業動向

中国の揚帆、ポーランド海運PZM社向け貨物船の建造を完了【17日】

中国造船業者・揚帆は、ポーランドPZM社向けの新たな貨物船の建造を完了した。建造されたSzare Szeregi号は、長さ180メートル、幅30メー

トル、積載量3万9,000トンで、2020年までに4億ドルの経済効果が見込まれる。同船は、日本・中国・韓国、太平洋を經由して、メキシコ港に鋼材を運送する予定とされる。

モラビエツキ副首相、自身の戦略効果につき講演【20日】

19日、モラビエツキ副首相は、2017年2月に発表された2020年までの「責務ある開発戦略」の効果について講演した。副首相は、同戦略に含まれる多くのプロジェクトについて、良い成果・経済的

効果が見込まれ、企業支援・投資家インセンティブなど法的環境の改善につながるものである旨述べた。責務ある開発戦略は、公的投資による経済刺激、ポーランドへの海外投資の拡大支援、長期的な建設抑制計画と並んで今年の優先課題となっている。

エネルギー・環境

ポーランド、中国と原子力平和利用覚書を交換【17日】

ピオトロフスキ・エネルギー省次官は、北京で原子力の平和利用に関する覚書に署名した。ポーランドは類似覚書を日本とも交換しており、韓国との

協力についても検討している。中国との覚書は、中国企業が優先される事を示すものではない。なお、2030年までのエネルギーミックスについても、石炭の利用比率を60%程度とするエネルギー大臣の声明に沿って遂行される予定である。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、5月27日(土)から約1か月続いたイスラム教の断食月ラマダンの少し前からテロ事件が続発しています。これらのテロへの関与を主張するイスラム過激派組織ISIL(イラク・レバントのイスラム国)は、銃器や爆弾の使用に加え、車両の突入やナイフによる殺傷といった実行が比較的容易な方法で、混雑した閉鎖空間を狙ってテロを実行するよう呼びかけており、これに応じテロを実行したとも見られるケースが続いています。

夏にかけて、欧州各地でスポーツ大会、音楽フェスティバル、独立記念日を祝う行事などのイベントが予定されており、これらを標的とするテロへの警戒が必要です。これに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も同じく懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

- (1) 最新の関連情報の入手に努める。
- (2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。
観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。
- (3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。
- (4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

パスポートダウンロード申請書の御案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事**【予定】金継ぎ: 日本で発案された漆と金による陶磁器の修復技法【7月31日(月)17時半～】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、ヨアンナ・コリチャシュ＝北御門氏による金継ぎに関する講演が開催されます(ポーランド語)。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】着付けワークショップ(子供向け)【8月3日(木)10時半～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、子供向け着付けワークショップが開催されます(ポーランド語)。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】浴衣ワークショップ(大人向け)【8月10日(木)17時半～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、大人向け浴衣ワークショップが開催されます(ポーランド語)。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】折り紙ワークショップ(子供向け)【8月24日(木)10時半～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、子供向け折り紙ワークショップが開催されます(ポーランド語)。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】日本の伝統書藝術展【9月19日(火)～29日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、稲垣小燕氏による書道作品が展示されます。入場無料。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp,
住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】第7回国際ジュニア・子供柔道選手権大会【9月23日(土)～24(日)】

ウヅジ市にて、学生スポーツクラブ「こころ」主催による『第7回国際ジュニア・子供柔道選手権大会』が開催されます。

開催場所: ウヅジ県, ウヅジ市, ul. Stanisława Małachowskiego 5/7

詳細: <http://www.judolodz.pl/>

【予定】第5回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」【9月23日】

ノバ・サジナ市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第5回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」』が開催されます。

開催場所: ポトカルパチェ県, ノバ・サジナ市, ul. M. Konopnickiej 2

詳細: <http://www.karate.lezajsk.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまで御連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 newsmai@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmai@wr.mofa.go.jp)(御連絡は電子メールでお願いします。)